



アカショウビン(江府町)

# 米子市 文化活動館 通信



キビタキ(大山町)

## リーズナブルな文化活動館



館長 中村輝彦

文化活動館では間もなく、新年度の自主講座がスタートします。文化系をはじめ運動系の各講座のほか、伝統工芸を知る「弓浜緋体験教室」や料理教室などです。

ところで、先だって文化活動館運営委員会が開かれ、委員の方から様々な意見をいただきました。なかでも、当館が市民にあまり知られていないとする知名度の低さの指摘は、私どもも課題としており、悩ましい問題です。話題性だけでは一過性の知名度アップにすぎず、地道に運

営するなかで継続的に利便性やリーズナブルな料金体系などをアピールし、利用促進を図りたいと考えています。具体的には、当館は小規模施設ですが、年間利用者は16000人余りを数えます。開館時間は9時-22時(日曜日を除く)と利用に幅広く対応する時間帯で、標準的な部屋の使用料は、人数に関係なく日中は1時間当たり220円と手頃です。各部屋は、楽器演奏が可能な防音仕様のほか、調理設備が配備、軽運動や会議に適するなどの特徴を持ち、コンパクトな施設ながら多目的で使いやすくなっています。施設は古いのが難点ですが、一度、足を運んでみてください。

## 弓浜緋の世界(番外編)

文様⑦

「雀に…」の雪輪文は、雪の結晶をかたどった輪を文様化しています。雪は室町時代に初めて文様化されたようです。古くから、正月に雪が降れば瑞兆と喜ばれました。雪解け水が田んぼを潤して豊作をもたらすとの考えです。「縞…」の腰の曲がった海老は「翁」で、不老長寿のシンボル。末広がり型の扇は繁栄を意味しています。



雀に雪輪文と松竹文(山陰歴史館蔵)



縞入り海老と日の丸扇文(山陰歴史館蔵)

アナグマ(伯耆町)



**大山の春** 中国地方で最高峰の大山(1729 ㍎)に、春がやってきました。長く厳しい寒さの冬が去った春爛漫の森は、多種多様な生き物が躍動を始めています。東南アジアからは渡り鳥たちが飛来し、深い雪に覆われた地面の下で春を待ちわびていたアナグマの一家が、巣穴から飛び出してきました。ブナの樹木も、柔らかな日差しを浴びて生き生きとします。まことに、春の森は、命の輝きに満ち溢れています。そんな、5月の連休ごろ、森に夏鳥「キビタキ」が姿を見せます。雄は黄色と橙色が目目を引く華やかな容姿で、毎年、森での出会いを楽しみにしています。東南アジアから繁殖のために訪れ、先着の雄が森で縄張りを確保し、美しいさえずりで雌にラブコール。さえずりは、他の雄に対する縄張り宣言でもあります。伯耆、大山町など森の至る所で見かけます。一方、大山町などの渓谷には、夏鳥「オオルリ」が訪れます。巣材にするため、倒木に密生したコケを集める様子も観察できます。オオルリは、ウグイス、コマドリとともに「日本三鳴鳥」と呼ばれ、見事な鳴き声を披露します。この頃、大山中腹の暗い森では、赤い容姿の夏鳥「アカショウビン」が、独特な鳴き声「キュロロロ」を響かせます。長い尾が自慢の夏鳥「サンコウチョウ」も鳴き声のユニークさでは負けてはいません。「月(ツキ)日(ヒ)星(ホシ)ホイホイ」と鳴きます。「月と日、星で三つの光」から三光鳥(サンコウチョウ)と名付けられました。江府町の渓谷では、この2種の鳴き声の競演が聞かれます。(裏面に続く)

木  
洩  
れ  
日  
散  
歩



雪が溶けた森には、イタチの仲間「アナグマ」の姿があります。積雪期は、地下に掘った巣穴で冬眠、していますが、春の訪れとともに盛んに活動し、日中でも出合いのチャンスがあります。アナグマはかつて、貉(ムジナ)と呼ばれていました。タヌキも一部地方では貉で、両種の区別が曖昧な時代もありました。ポカポカ陽気の下で散策する大山の森は、生き物たちのパラダイスです。春の森に出かけてみませんか。(文、写真とも山根)

## 令和6年度 学べる講座



令和6年度の自主講座が5月、スタートします。先陣を切るのは、伝統工芸が身近に感じられる年1回の特別講座「弓浜緋体験教室」で、5月13日に開催します。次いで、織物に親しんでもらう「織物教室入門講座」が6月11日に開講です。このあと「実用書道教室」や初心者に好評の「ベーシックヨガ教室①」と続きます。7月には「初めての中国語教室」と「いざという時の着物着付教室」が始まります。本号では、7月までの講座を掲載しています。募集開始日を確認の上、各種講座への参加をお願いします。

### 弓浜緋体験教室

- ◆日時 5/13(月)13:30-16:00
- ◆講師 工房ゆみはま
- ◆内容 糸紡ぎ、機織りなどの工程を学び、コースター製作
- ◆定員 12人(先着順)
- ◆受講料 1000円(材料費込み)
- ◆募集開始 4/15(月)9:00

### 募集 織物教室入門講座

- ◆期間 6/11-8/27  
火曜日のうち6回
- ◆時間 13:30-15:30
- ◆講師 手織工房 藍慈彩
- ◆定員 8人(先着順)
- ◆受講料 6000円(別途材料費)
- ◆募集開始 5/10(金)9:00

### 募集 実用書道教室

- ◆期間 6/24-10/7  
月曜日のうち12回
- ◆時間 13:30-15:00
- ◆講師 後藤三千代先生
- ◆定員 16人(先着順)
- ◆受講料 5000円(別途手本コピー代)
- ◆募集開始 6/7(金)9:00

### 募集 初めての中国語教室

- ◆期間 7/26-10/11  
金曜日の12回
- ◆時間 19:00-20:30
- ◆講師 呉 燕先生
- ◆定員 16人(先着順)
- ◆受講料 5000円(別途教材費)
- ◆募集開始 7/5(金)9:00

### 募集 ベーシックヨガ教室①

- ◆期間 6/25-9/17  
火曜日のうち12回
- ◆時間 19:30-21:00
- ◆講師 山口由起子先生
- ◆定員 20人(先着順)
- ◆受講料 5000円
- ◆募集開始 6/10(月)9:00

### 募集 いざという時の着物着付教室

- ◆期間 7/29-11/18  
月曜日のうち12回
- ◆時間 19:00-21:00
- ◆講師 田中佳津子先生
- ◆定員 14人(先着順)
- ◆受講料 5000円
- ◆募集開始 7/8(月)9:00

**休館日** ◆5月=毎週水曜日と3日(金)、4日(土)、5日(日)、6日(月) ◆6月=毎週水曜日 ◆7月=毎週水曜日と15日(月)

**利用時間** 開館日の利用は平日と土曜日が9:00~22:00(日曜日は17:00まで)。部屋貸し出しは閉館の15分前まで。



### あとがき

最近、日帰り温泉にはまっています。暇を見ては、一回り年下の相棒と県内外の温泉を巡る旅です。私が運転してのドライブですが、なにせ、今年66歳。助手席の相棒に注意してもらいながら、安全運転を心掛けての道中です。温泉は、泉質の違いはもとより、露天や広さ、形がさまざまな浴槽が見られ、休憩スペースなどにも特徴があり、それぞれの施設の雰囲気堪能しています。困るのは、相棒がサウナ好きで、2-3時間の滞在はざら。サウナに親しまない私には、時間つぶしが大変ですが、日頃のストレスを忘れて、温泉でリフレッシュしています。(M)

お申し込み・お問い合わせは 米子市文化活動館 ☎0859(34)5154

〒683-0802 鳥取県米子市東福原8丁目24-31 FAX=0859(30)4788

米子市文化活動館 指定管理者 旭ビル管理株式会社 <https://y-bunkak.com>